

11月は 児童虐待防止 推進月間です

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です
虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときや、ご自身が出産や子育てに悩んでいるときは、児童相談所や市役所の窓口にご連絡してください。



さしのべた
その手がこどもの
命綱

オレンジリボンには、子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

●児童虐待とは……

児童虐待は家庭内でのしつけとは明らかに異なり、子どもの心身の健やかな成長に重大な影響を与える行為です。

【身体的虐待】	殴る・蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど
【性的虐待】	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性的描写を売り物にしたもの等の被写体にするなど
【ネグレクト】	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、学校へ登校させない、保護者以外の同居人による虐待を放置するなど
【心理的虐待】	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス)など

乳幼児揺さぶられ症候群について

赤ちゃんを激しく揺さぶらないで!

赤ちゃんが何をやっても泣き止まないと、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ます。しかし、泣き止まないからといって、どうも激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、見た目にはわかりにくいですが、頭(脳や網膜)に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。

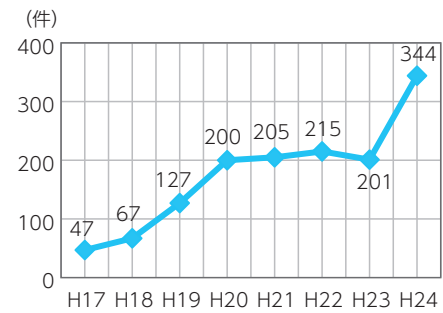
どうしても泣き止まない時は、赤ちゃんを安全な所に寝かせて、その場を少しの間でも離れ、深呼吸をするなどして、まず自分をリラックスさせてみてください。

長浜市・滋賀県の 相談件数等の状況

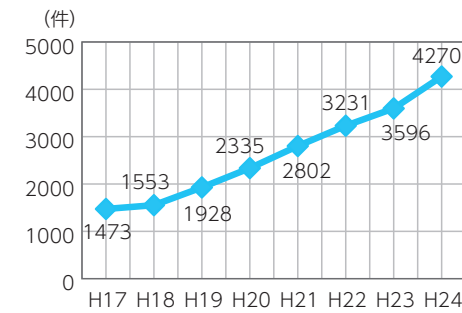
平成17年度から市も相談・通告窓口となりました。その後、相談件数は増加し、昨年度には7倍を超えました。

滋賀県(原内市町の合計)も同様に増加傾向で、虐待に対する地域や社会の関心が高まってきていると見えます。

長浜市における相談・通告件数の推移

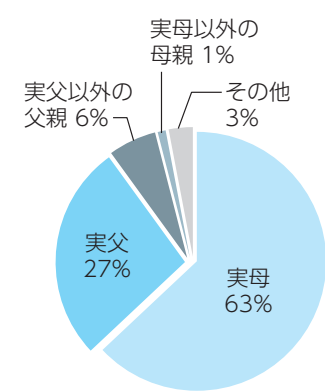


滋賀県における相談・通告件数の推移



虐待相談の6割以上が 実母という現状とその背景

市内の虐待相談で最も多いのが実の母親からです。昔に比べて、男性の育児参加への意識が高まってきたものの、依然として子育ての大半を母親が担っており、毎日の不安や心配が育児ストレスとして蓄積されています。「自分が頑張らなければ」というプレッシャーが、虐待の背景にあると考えられます。



「しつけ」と「虐待」

しつけとは、基本的な生活習慣や社会のルール・マナーの習得、他人のことを思いやる行動などを身に付けるために行う家庭内での教育です。これは子どもの発達や理解度に配慮しながら行うものであり、大人の都合や期待を押し付け、暴力や言葉で従わせて行うものではありません。保護者にとっては「しつけのつもり」でも、子どもにとっては有害であれば「虐待」になります。

ひとりで抱え込まず、相談してください

子育ては、子どもの成長とともに、親が親として成長していく過程でもあります。楽しいことや喜びも多いためと同時に、迷うこと、困ってしまうことも起こります。まわりの親はちゃんとできていると感じて、できていない自分を責めてしまうことはありませんか。でも、悩んでいるのはあなただけではありません。誰かに話をすることで肩の荷が下り、安心することもあります。

子育て中の親子に、みなさんの見守りや応援をお願いします
身近で出会う親子に、声掛けや優しいまなざしをお願いします。そんなあなたが行動が、子育て中の親の心の支えになることもあります。もし、虐待を受けたと思われる子どもがいいたら、確信がなくても左記の機関に相談してください。(連絡は匿名で行うこともできます。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます)



上手な子どものしつけとは

何度言っても子どもが同じことを繰り返す、つい口調がきつくなって、子どもとの関係が悪くなるといったことがあります。親が子どもとうまくコミュニケーションできる方法を身につけることで、子どもの問題行動を減少させ、親のいらだちが少なくなり、親子関係が改善されます。

ほめ上手・伝え上手になろう

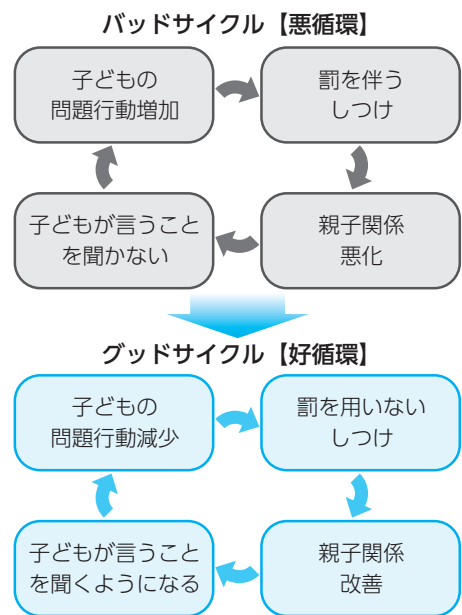
子どもをほめるのは、なかなかできないものです。照れくさかったり、ほめることの効果を感じにくかったり、つい注意が先にでてしまうことがあります。そんな時には、ほめる前に子どもがしている行動を認めてみましょう。『当たり前』に思えることでも、継続できている点を「〇〇してるね」と伝えてみましょう。子どもはほめられることで、個性を認めてもらえたと感じ、自分に好きになります。その喜びが自信につながり、新たな意欲が芽生えます。結果的に子どもの良い面が伸び、悪い面が減っていきます。

「具体的に」わが「へや」を「かか」わ、

「ちゃんとしない」といった「あいまいな表現」ではなく、「わかりやすい表現」を使うことで、メッセージが明確に伝わります。
あいまいな表現 「行儀よく食べなさい」… ×
わかりやすい表現 「お茶わんを持って食べようね」… ○
子どもと視線を合わせて、表情を見ながら伝える、テレビなどを消し、静かな環境にしてから話すなどの工夫も効果的です。

グッドサイクル ニニコ家族

罰を伴うしつけは、子どもにとっては怖い思いが心に残ります。なぜ叱られたのか理解できず、また同じことを繰り返すことにもなります。できていることをほめる、認める、わかりやすく説明することで、良い親子関係が築けます。



長浜市立図書館からのお知らせ

～あなたの子育て応援します!～

児童虐待防止関連図書 『オレンジリボンコーナー』開設

市立長浜図書館には、児童虐待に関連する図書約1,600冊をそろえています。家庭教育・発達・育児の一般教養から専門書まで幅広い内容です。子育て中の人はもちろん、子育て中の方を見守る地域のみなさんもぜひご利用ください。

また、全館に木製のおもちゃやパズルを用意しており、お子さんと一緒に楽しめる場所としても利用していただけます(貸出も可)。

毎週赤ちゃんタイム(月曜日図書館、金曜日浅井図書館)、毎月各館で赤ちゃん向けのおはなし会も実施中!気軽に、お出かけください。